

演題名	繁殖管理システムの開発と活用		
発表者 氏名	青木 一郎	所属	飯田家畜保健衛生所
<p>県下でも有数の繁殖基盤をもつ飯田下伊那地域においても、近年、生産者の高齢化や1戸当たり飼育頭数の増加により、繁殖管理に課題のある農家が認められるようになった。そこで、繁殖和牛農家における繁殖台帳の整備、育種価の活用及び授精業務の効率化を図るため、繁殖管理システム（システム）を開発。</p> <p>システムへのデータの入力は、農業協同組合（JA）の家畜人工授精師が実施。システムの出力能力は、次回発情、妊娠鑑定、分娩予定日の算出、平均遅延日数（JMR）、受胎率及び授精回数等の繁殖管理項目について加工を行い、さらに、子牛の出荷成績まで管理できるように工夫。</p> <p>システムにより農家の繁殖成績の加工及び分析、超音波診断等農家指導を実施したところ、農家の課題解決だけでなく、JAとの繁殖成績の共有化から、地域における育種価を活用した遺伝的改良や繁殖成績の動向が把握できるようになった。</p>			